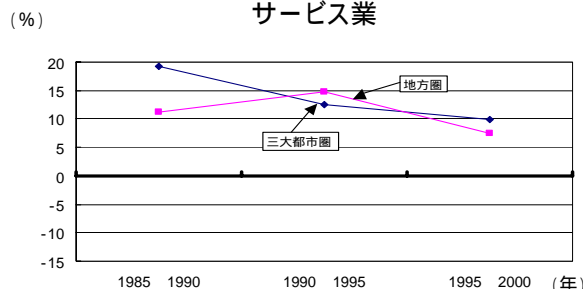
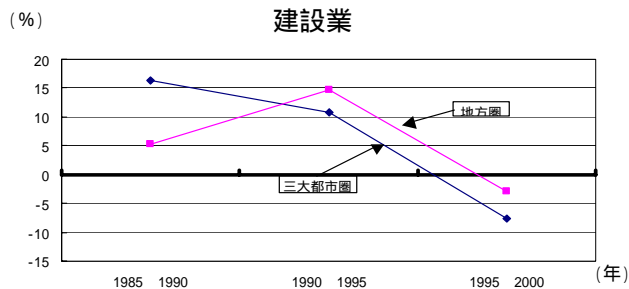
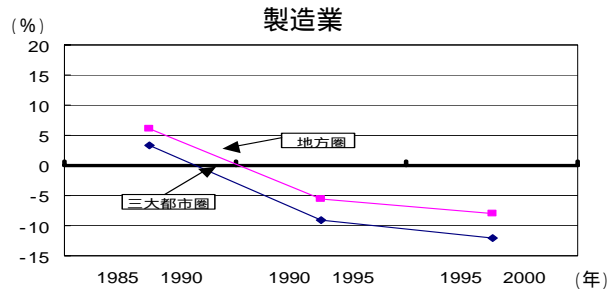
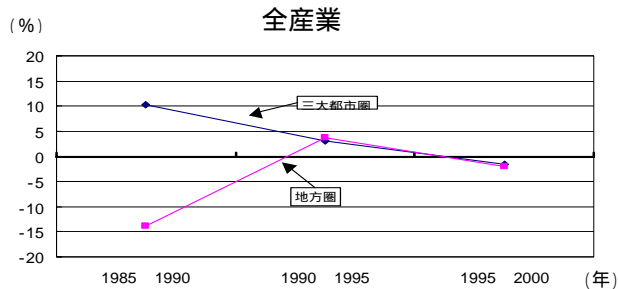


指標：全産業、製造業、建設業、サービス業、就業者の伸び率

全産業の就業者数は95年以降三大都市圏、地方圏ともに減少している。そのうち、業種別内訳でみると製造業の就業者数は三大都市圏、地方圏ともに90年代から減少しており、また、建設業の就業者は95年以降三大都市圏、地方圏ともに減少している。一方、サービス業の就業者数は三大都市圏、地方圏ともに95年以降伸び率は鈍化しているものの、増加を続けている。

三大都市圏、地方圏別就業者数伸び率の推移



(出典) 各年度国勢調査より、国土交通省国土計画局作成。

(注) 1. 三大都市圏とは東京圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、名古屋圏(岐阜県、愛知県、三重県)、関西圏(京都府、大阪府、兵庫県、奈良県)である。
地方圏とは三大都市圏を除いた都道府県である。